

SYS ユーザーのパスワード忘れに対する対応方法 Oracle で使用する通信の暗号化設定

パスワードを忘れてしまい、「connect / as sysdba」でログインできなくなった場合の対処法

手順 1. パスワードファイルの削除

Windows の場合： %ORACLE_HOME%\Database フォルダ
PWD[SID].ora ファイル

Unix の場合： \$ORACLE_HOME%/dbs フォルダ
orapwd[SID].ora ファイル

上記のファイルを削除する

手順 2. 新しいパスワードの設定

```
c:\¥ orapwd file=新ファイルの絶対パスを含む名前 password=新しいパスワード  
entries=このパスワードファイルに設定するユーザー数の MAX
```

※ ファイルの絶対パスを含む名前は、削除したファイルと同一内容を指定する異なったディレクトリを指定して、新規作成することは出来ない

【 注意事項 】

初期化パラメータ REMOTE_LOGIN_PASSWORDFILE :

SHARED を設定してある場合 SYSDBA としては、SYS 以外のユーザーは登録できない
複数の Oracle インスタンスで、共通のパスワードファイルになります

設定していなかったり、NONE と指定している場合

「sql> connect /@接続文字列 as sysdba」を使用して、OS 認証を使って接続する

Oracle で使用する通信の暗号化設定

Oracle では、標準で接続時のパスワードのみが暗号化されます
通信全体を暗号化するためには、**Enterprise Edition** のライセンスを購入して、かつ
Oracle Advanced Security オプション製品が必要になります

この製品を導入すると、**DES** や **AES** といった通信の暗号化、**MD5** や **SHA** といった
通信の符号化を行うことが可能です
また、**SSL** の利用も可能になります